

保証書

この製品は厳密な品質管理および検査に合格し、製造出荷された製品です。しかし通常の
ご使用において万一自然故障や調整の必要が生じた場合は保証規定に従い保証いたします。

《保証規定》

1. 本機の取扱説明書、本体貼付の注意ラベル等に従った正しい使用状態で保証期間内に故障した場合には
無償修理いたします。お買上げの販売店に商品を本保証書とともにご持参ください。また送付を希望さ
れる場合は送付先を販売店にご確認ください。
2. 次の場合は保証期間中でも有償修理となり、実費にて申し受けます。
(a)お取扱いの不注意及びお客様ご自身による修理改造が原因の故障または損傷。
(b)お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障または損傷。
(c)火災、地震、水害、落雷などの天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧や指定外の電源使用など
による故障または損傷。
(d)本保証書のご提示がない場合。
(e)本保証書に品番、製造番号、お買上げ年月日、お客様名、住所、販売店名の記入がない場合、ある
いは記入内容を改ざんされた場合。
3. 万一、ラミネート加工に失敗した場合やラミネート加工により原稿が損傷し再生不能となった場合で
も、原稿に対する保証は致しかねます。
4. 本商品はお客様にお持ち込み、またはご送付頂く修理となっております。修理ご依頼品のご持参及びお
持ち帰りの交通費など、またご郵送される場合の郵送料金及び諸掛かりは、お客様のご負担となります。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only for Japan.

※この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理等については、お買上げの販売店又は弊社にお問い合わせください。

品 番	NQL-301A3	製造番号	
保証期間	お買上げ 年 月 日より1年間		
お 客 様	ご住所 〒 _____		
	TEL _____ 様		
販 売 店	住所・店名・TEL _____		

★販売店様へ：必要事項をご記入の上、お客様へお渡しください。

ナカバヤシ株式会社

〒174-8602 東京都板橋区東坂下2丁目5-1
〒536-0005 大阪市城東区中央2丁目1-23

商品に関するお問い合わせは… 受付時間
TEL:0120-166-779 10:00~12:00/13:00~17:00
土曜・日曜・祝日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は「休み」です
<https://www.nakabayashi.co.jp/>

QUICK LAMI 4
Personal Laminator **AUTO**

Nakabayashi

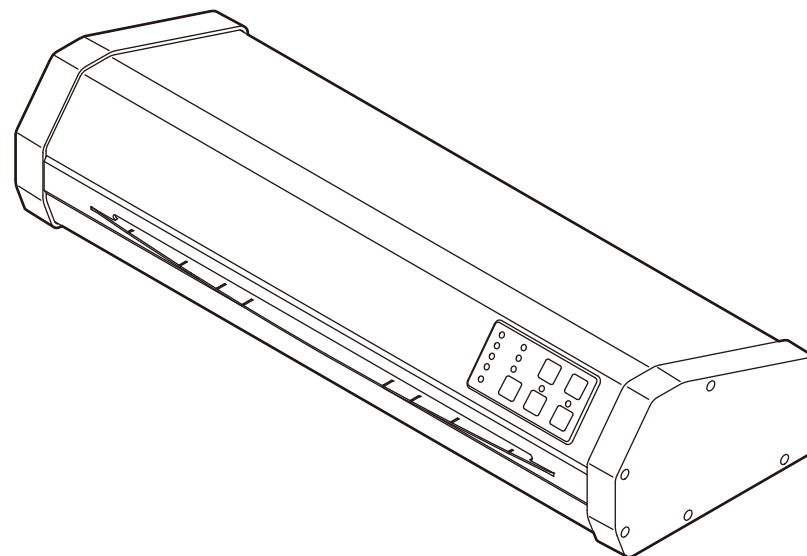
パーソナルラミネータ
クイックラミ 4 オート
NQL-301A3

取扱説明書

●保証書付●

この度は、パーソナルラミネータ クイックラミ4オートをお買い上げいただき誠にありがとう
ございます。

- この「取扱説明書」は本機の操作方法および使用上の注意事項について記載しています。
- 本機の性能を十分発揮させ、安全で効果的なご使用をしていただくためにも、この「取扱説明書」
を最後までお読みください。
- お読みになった後は大切に保管し、必要な時にご利用ください。



NQL-301A3

PERSONAL LAMINATOR

目次

目次	1
梱包内容の確認	2
安全上の注意事項・機械の設置上の注意事項	3~4
各部の名称と働き	5~6
ラミネートについて・ラミネートする前のご注意	7
ラミネートを行う① ラミネートフィルムの準備	8
ラミネートを行う② ラミネータの準備・③ ラミネートの開始 コールドラミネートの場合	9
ラミネートを行う③ オート設定の場合	10
ラミネートを行う③ マニュアル設定の場合	11
ラミネートを行う③ ラミネートの終了・オートリバー機能について	12
フィルムづまりや巻き込みのトラブル	13
ローラークリーニングお知らせランプ・ローラークリーニングの方法	14
故障かな？と思ったら トラブル時のチェックポイント	15~16
本体のお手入れ・ラミネートQ&A	17
主な仕様・補足説明	18
保証書	裏表紙

主な仕様

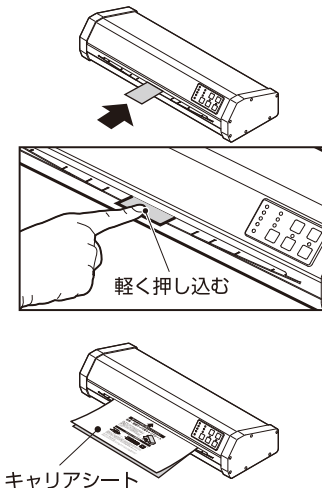
品 番	NQL-301A3
本 体 寸 法	W481×D172×H106mm
本 体 重 量	約4.5kg
最大ラミネート幅	350mm（最小は名刺サイズ）
最大ラミネート厚	0.6mm（フィルムと原稿を合わせた厚み）
対 応 フ ィ ル ム	オート設定：75～250 μ m、マニュアル設定：75・100・150 μ m （コールドラミネート対応）
電 圧 ・ 周 波 数	AC100V（50/60Hz）
消 費 電 力	1400W（50/60Hz）※ウォームアップ時の最大値
ラ ミ ネ ー ト 速 度	約1000mm/分（50/60Hz）※75 μ mのラミネートフィルム使用時
ウォームアップ時間	約60秒（50/60Hz）※室温が約25℃でオート設定の場合
温 度 設 定	オート設定：約145℃、マニュアル設定：約140～150℃
コ ー ド の 長 さ	約1.2m
主 要 材 質	スチール・ABS樹脂
付 属 品	クリーニングペーパー

- ラミネート速度により若干モーター音が大きくなる場合があります。
- 本製品は本体内部の温度を最適な状態に保つため底面にファンを取り付けています。そのため使用中はファンの作動音がします。

※仕様の数値は使用条件などにより変化する場合があります。
※改良のため予告なく仕様・外観を変更することがあります。

補足説明

名刺サイズなどの小さいフィルムを使用する場合



- ・フィルム挿入口からまっすぐ中央に入れ、ローラーにフィルムの先端があたるように軽く押し込んでください。
 - ・フィルムは「すばやく」挿入してください。オートリバー機能が作動しローラーが逆転する場合があります。
- 【▶ P.12「オートリバー機能について」参照】

- 名刺・写真サイズ用キャリアシートについて
- ・名刺・写真サイズなどの小さいフィルムをラミネートする場合、左図のように付属のキャリアシートを使用することで容易に且つ効率的なラミネートを行うことができます。
- ・付属のキャリアシートに記載されている使用方法に従ってご使用ください。

本体のお手入れ

本体カバーは柔らかい布で乾拭きしてください。
※中性洗剤・化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きに従ってください。

	お手入れの際には必ず電源コードを抜いてください。
	機械に直接水をかけての掃除、ベンジン・シンナー・アルコール等は使用しないでください。
	本体カバーを取り外してのお手入れはしないでください。感電や故障の原因となります。
	機械の内部や外部の掃除などに可燃性スプレーや可燃性揮発物等を使用しないでください。引火の恐れがあります。

ラミネートQ&A

Q1：写真をラミネートしても大丈夫？

A：問題ありません。ただし、インスタント写真は撮影後数日はローラーの圧力で写真の中の水分が漏れ出すことがあります。一週間程度待って写真が十分に乾燥してからラミネートしてください。

Q2：カラーコピーやカラープリンタで作成した原稿をラミネートしても大丈夫？

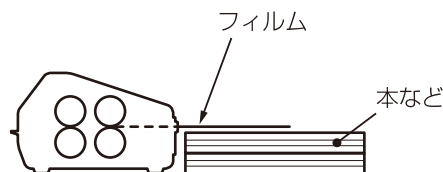
A：カラーコピー・インクジェットプリンタ・熱転写プリンタ等は問題ありません。ただし昇華型熱転写プリンタで作成した原稿は時間経過により、像がぼやけたり退色したりすることがありますのでご注意ください。

Q3：マニュアル設定での作業途中で、フィルム厚の変更やラミネートの温度を調整する場合は？

A：フィルム選択ボタンを押してご使用になるフィルム厚を選択し、温度調整ボタンを押して好みの温度に調整してください。ランプが点滅しその設定に合わせて機械がラミネートの準備を開始します。「ピー」と鳴ってランプが点灯に変わるとラミネートが可能になります。
※フィルム厚を薄めに、またラミネートの温度を低めに切り換える場合は、ローラーの表面温度が下がるまで少し時間がかかります。
※フィルム厚やラミネートの温度を変更したい場合は、本体にフィルムが入っていないときに行ってください。

Q4：ラミネートしたフィルムが反るのですが…

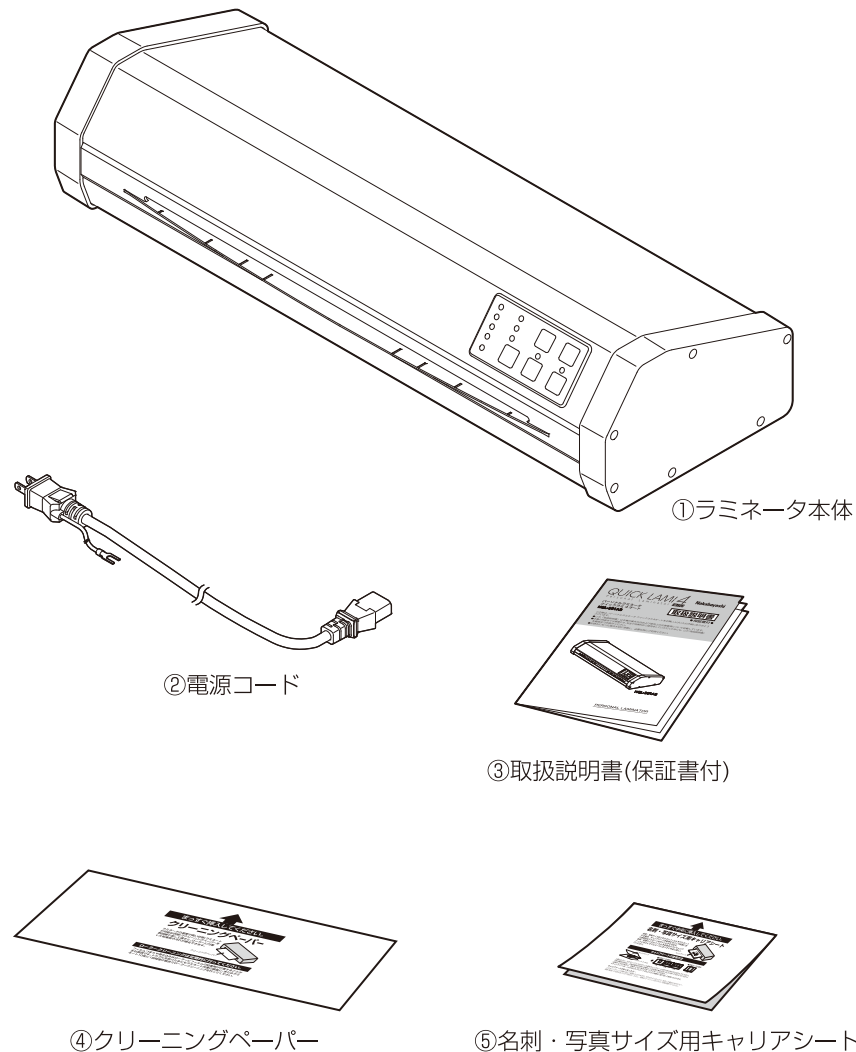
A：ラミネート直後のフィルムは軟らかくなっているため反ることがあります。よりきれいに仕上げるためには、フィルム排出口の先に本などを積んでフィルムがまっすぐ出てくるようにしてください。



注意 フィルム排出口をふさがないように、高さには十分ご注意ください。

梱包内容の確認

- ①ラミネータ本体
- ②電源コード
- ③取扱説明書(保証書付)
- ④クリーニングペーパー
- ⑤名刺・写真サイズ用キャリアシート



ラミネータ本体および付属品がそろっていることを確認してください。
足りない物がある時は、お買い上げの販売店へご連絡ください。

安全上の注意事項

安全のため必ずお守りください

この取扱説明書には製品を安全に正しくお使いいただき、事故や損害を未然に防止するために絵表示を使用して注意事項を記載しています。次に絵表示の内容と意味を表記しますので、理解してから本文をお読みになり本機を使用してください。



警告

この表示のある項目を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示のある項目を無視して取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



禁止事項を示します。禁止行為を行いますと、直接または機械の損傷の結果、傷害を負う危険があります。禁止の内容を の中に絵文字で示します。



要請事項を示します。要請事項が実施されない場合は、十分な安全を保つことができません。要請の内容を の中に白抜き絵文字で示します。



機械を使用する際の保守上の注意及び補足や参考を示します。

機械の設置上の注意事項



●機械の設置上の注意事項



次のような場所への設置は避けてください。

- ・直射日光のあたる場所
- ・極端に温度や湿度が高いまたは低い場所
- ・ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所
- ・ほこりや振動の多い場所
- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所



機械の上に物を置かないでください。本体上部は高温になるため、置いた物が変形したり、機械の故障の原因となります。



機械を移動させる場合は、必ずプラグをコンセントから抜いて行ってください。電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。



●機械のご使用上の警告事項



表示された電源・電圧以外で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災・感電の恐れがあります。



熱に弱い敷物の上や燃えやすい物の近くで使用しないでください。火災や機械の故障の原因になります。



お子様や乳幼児の手の届く所に設置しないでください。やけど・感電の恐れがあります。

症状	原因／処置
・仕上がりが白っぽい	→ オート設定で仕上がりがうまくいかない場合は、マニュアル設定でお好みの仕上がりに合わせてラミネートの温度を調整してください。 → オート設定ランプまたはマニュアル設定ランプが点滅の状態ですラミネートしていませんか？ランプが点灯してからフィルムを挿入してください。
・密着性が悪い	→ オート設定ランプまたはマニュアル設定ランプが点灯してからご使用ください。連続でラミネートしている際に点滅したら点灯するまでしばらくお待ちください。
・フィルムにシワ（縦方向）が発生する	→ 原稿が厚いと原稿の周囲の余白部分がしっかり密着しない場合があります。 → 原稿が極端に薄すぎると、フィルムに熱がかかりすぎてシワが発生する場合があります。 → 原稿の紙質によっては、熱による収縮によってシワが発生する場合があります。 → 湿気を含んだ原稿では正しくラミネートできません。 → 厚手の原稿に150μm以上のフィルムを使用すると、十分に密着しない場合があります。100μmのフィルムをご使用ください。150μm以上のフィルムでラミネートできるのは薄紙のみです。※150μm以上のラミネートはオート設定のみ可能です。 → 反り・折れ・シワのあるような紙はきれいにラミネートできません。 P.8 → 原稿のサイズに合ったフィルムをご使用ください。フィルムに余白が多いとシワや巻き込みの原因となります。最適なサイズのフィルムがない場合は捨て紙を入れてラミネートしてください。 P.8 → フィルムは原稿よりも2～5mm大きいものをご用意ください。 → フィルムを挿入口に無理に押し込んだり、排出口から無理に引っ張ったりしないでください。 → 排出口から出てきたフィルムは速やかに取り出してください。放置するとフィルムの端が熱で折れたりシワになります。 → エアコンの冷風や温風が直接本機にあたらないようにしてください。 → 必ず「ナカバヤシ」のラミネートフィルムをご使用ください。フィルムの特性が合わないとは正しくラミネートできません。 → 本機の連続使用時間は60分です。60分経過後は、電源ボタンを押してクールダウンの状態です20分以上休ませた後、再度ご使用ください。



いずれの異常もなく、正しくご使用いただけない場合には主電源スイッチの○側「切」を押して電源コードを抜き、弊社または販売店にご相談ください。

故障かな？と思ったら トラブル時のチェックポイント

症状	原因／処置
・動かない	→ 電源コードを本体とコンセントにしっかり差し込んでください。 → 主電源スイッチの側「入」を押したあと、電源ボタンを押して電源を入れてください。 
・オート設定ランプまたはマニュアル設定ランプが点灯しない	→ 通常、ウォームアップ時間は約60秒で点灯します。室温が著しく低い場合は3分程度お待ちください。 → エアコンの冷風や扇風機の風が直接本機にあたらないようにしてください。
・ウォームアップの時間が60秒より長い	→ 室温は25℃以上の場合でも、本体内部は保管場所などにより25℃以下の可能性があります。そのような場合は約60秒でウォームアップが完了しないことがあります。オート設定ランプまたはマニュアル設定ランプが点灯するまでお待ちください。
・ラミネートフィルムが入っていない	→ オートリパス機能が作動していませんか？フィルムは「すばやく」挿入してください。  → フィルムと原稿を合わせた厚みが0.6mmを越えるとラミネートできません。 
・ラミネートフィルムが途中で止まった（カタカタと異音がする）	→ 誤って電源コードが抜けていませんか？ → 主電源スイッチが「切」になっていたり、誤って電源ボタンを押して電源が切れていませんか？
・排出口から出てこない	→ フィルムづまりなどが起きていませんか？ローラー逆転ボタンを押し続けた状態でフィルムを取り除いてください。 
・フィルムの端が折れて出てくる	→ ローラークリーニングを行ってください。ローラーが汚れているとフィルムの先端が折れて出てきたり、フィルムづまりや巻き込みの原因になります。 
・ラミネートフィルムが汚れて出てくる（白い線が付く）	→ ローラークリーニングを行ってください。  → フィルムに付着した粘着剤の汚れは中性洗剤で拭き取ってください。ベンジン・シンナー・アルコールなどは使用しないでください。
・フィルムが詰まる	→ 原稿のサイズに合ったフィルムをご使用ください。フィルムに余白が多いとシワや巻き込みの原因となります。最適なサイズのフィルムがない場合は捨て紙を入れてラミネートしてください。  → ローラークリーニングを行ってください。ローラーが汚れているとフィルムづまりや巻き込みの原因になります。  → 反っている原稿や極端に薄い原稿をラミネートするとフィルムづまりや巻き込みの原因になります。 → 必ず「ナカバヤシ」のラミネートフィルムをご使用ください。フィルムの特性が合わないとき正しくラミネートできません。

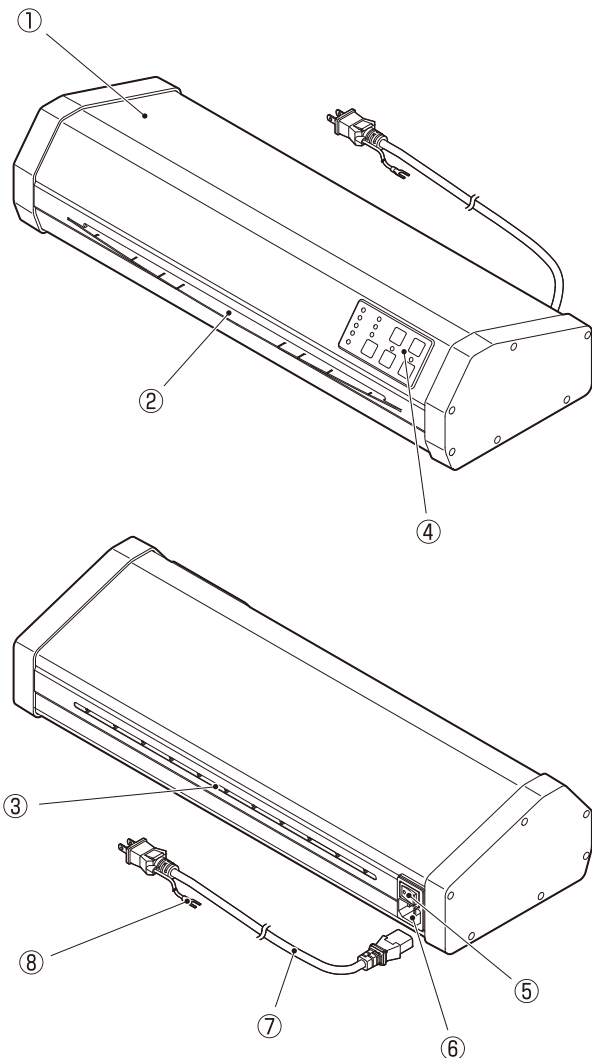
	濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	お子様だけでの使用や乳幼児の手の届く所での使用は避けてください。やけど・感電の恐れがあります。
	本機の分解や改造はおやめください。障害や感電の恐れがあります。
	本機に水などの液体をかけないでください。感電や故障の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、電源コードの上に重い物をのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災や感電の原因になります。
	機械のすき間に異物を差し込まないでください。火災や機械の故障の原因になります。また、機械の内部や外部の掃除等に、可燃性スプレーや可燃性揮発物等を使用しないでください。引火の恐れがあります。
	発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがする等の異常状態のまま使用すると、火災、感電の恐れがあります。すぐに使用をやめてプラグをコンセントから抜き、弊社または販売店にご相談ください。
	電源コードに触れて通電したりしなかったりする場合は、すぐに主電源スイッチの○側「切」を押して電源コードを抜いて弊社または販売店にご相談ください。そのまま使用すると火災、感電の恐れがあります。
	接地接続をしてください。火災や感電の原因になります。また接地接続は必ずプラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。接地接続を外す場合は、必ずプラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

注意 ●機械のご使用上の注意事項

	使用中の機械上部およびラミネート直後のフィルムは大変高温になっています。やけどに十分ご注意ください。
	髪の毛、ネクタイ、ネックレス等の巻き込まれる危険のある物は、フィルム挿入口に近づけないでください。巻き込まれてケガをする恐れがあります。
	長時間機械をご使用にならない場合は、必ず主電源スイッチの○側「切」を押してプラグをコンセントから抜いてください。またラミネート作業中はそばを離れないでください。
	ラミネート以外の用途に使用しないでください。事故や故障の原因になります。
	60分以上連続で使用しないでください。60分経過後は、電源ボタンを押してクールダウンの状態でも20分以上休ませた後、再度ご使用ください。本製品は業務用ではありません。
	本機を電源が入ったまま約30分以上ご使用されなかった場合は、自動休止機能が作動し「ピッ」と鳴ってクールダウンの状態になります。約10分後にローラーとファンが停止し電源オフの状態になります。再度ご使用になる場合は、電源ボタンを押して電源を入れてください。

各部の名称と働き

【本体】



- ①ラミネータ本体
- ②フィルム挿入口（サイズ表示目安付）
- ③フィルム排出口（背面）
- ④操作パネル ※P6参照
- ⑤主電源スイッチ ※P6参照
- ⑥電源コード用ソケット
- ⑦電源コード
- ⑧アース線

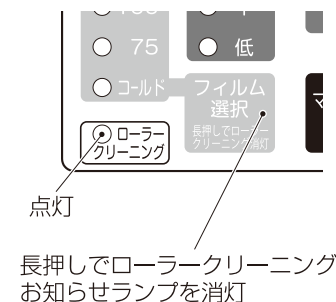
ローラークリーニングお知らせランプ

フィルムづまりや巻き込みはフィルムからはみ出した粘着剤がローラーに付着することが主な原因で起こります。そのようなトラブルを防ぐためにも定期的にローラークリーニングすることを知らせてくれるランプがローラークリーニングお知らせランプです。ローラークリーニングお知らせランプは以下のような場合に点灯します。ランプが点灯中でもラミネートすることは可能ですが、フィルムづまりなどのトラブルを防ぐためにもランプが点灯したときは、ローラークリーニングを行うことをおすすめします。

- ローラークリーニングお知らせランプが点灯するとき
 - ・ラミネート 10 枚後
 - ・オートリバース機能作動後
 - ・ローラー逆転後

ローラークリーニング終了後は、フィルム選択ボタンを長押し(約2秒間)して、ローラークリーニングお知らせランプを消灯させてください。

※ローラークリーニング終了後にローラークリーニングお知らせランプは自動で消灯しません。



ローラークリーニングを行わないと…

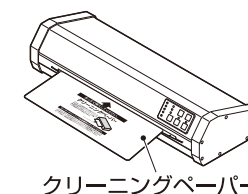
- ・フィルムづまりや巻き込みが起きる
- ・フィルムの先端が折れてラミネートされる
- ・ラミネートした物に汚れ(白い線)が付着する

このようなトラブルを防ぐためにも、定期的にローラークリーニングを行うことをおすすめします。

ローラークリーニングの方法

●クリーニングの方法

ラミネータの温度が高い状態（通常のラミネートが可能な状態）で、付属のクリーニングペーパーをフィルム挿入口から入れてください。これを数回繰り返すと、ローラーに付着した粘着剤が取り除かれ、ローラーがクリーニングされます。



●クリーニングを行う頻度

ラミネート作業が一通り終了するごとに、また一度にたくさんラミネートする場合は10枚に1回の割合でローラークリーニングを行ってください。また、オートリバース機能作動後とローラー逆転後にもローラークリーニングを行ってください。
※ローラークリーニングお知らせランプはラミネート10枚後、オートリバース機能作動後、ローラー逆転後に点灯します。

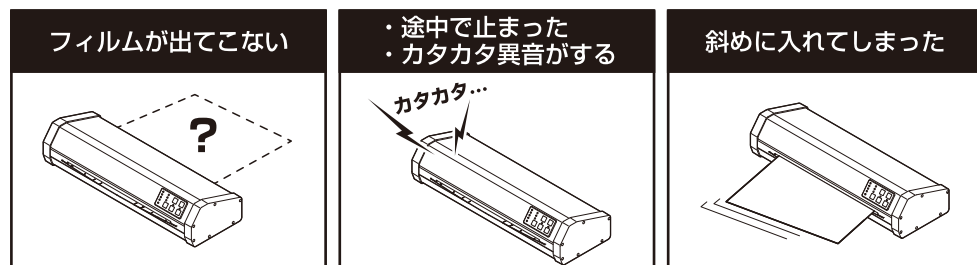
注意 クリーニングペーパーはまっすぐ挿入してください。斜めに入れると機械内部でつまり、故障の原因になります。

クリーニングペーパーがなくなったら

付属のクリーニングペーパーは繰り返しご使用いただけますが、汚れがひどくなったり、紛失した場合には厚紙(無地)で代用することができます。ただし、印刷や特殊なコーティングがされている物は避けてください。

フィルムづまりや巻き込みのトラブル

ローラーの汚れ・フィルムに余白が多い・フィルム挿入方向の間違いなどが原因でフィルムづまりや巻き込みが起こる場合があります。オートリバース機能が作動しない場合はすぐにローラー逆転ボタンを押し続けてください。それでもフィルムが取り除けない場合は、主電源スイッチの○側「切」を押して弊社または販売店にご相談ください。



注意 ラミネート作業中はそばを離れないでください。上図のような状態に気付かず放置した場合は、フィルムを取り除くことが非常に困難になったり、機械の故障や火災の原因になります。

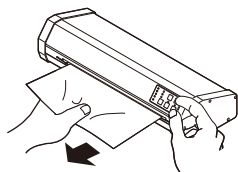
フィルムの取り除き方

1.ローラー逆転ボタンを押し続けます



オートリバース機能が作動せずフィルムづまりや巻き込みが起こった場合や、何らかの原因でフィルムを取り除きたい場合は、ローラー逆転ボタンを押し続けてください。ローラー逆転ボタンを押し続けている間はローラーが逆転します。

2.フィルムを引っ張りながら取り除きます

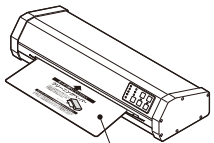


ローラー逆転ボタンを押し続けた状態で、フィルムを軽く引っ張りながら取り除きます。



フィルムは高温になっていますのでやけどには十分ご注意ください。

3.ローラークリーニングを行います



クリーニングペーパー



フィルムを取り除いた後は必ずローラークリーニングを行ってください。フィルムがつまると多くの粘着剤がローラーに付着するので、そのまま使用を続けるとフィルムづまりや巻き込みが起こりやすくなります。

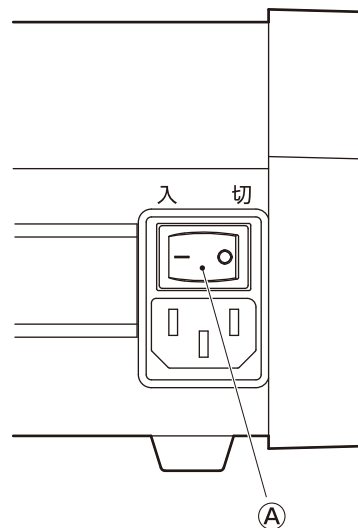
【▶ P.14 「ローラークリーニングお知らせランプ、ローラークリーニングの方法」参照】



上記の方法でフィルムを取り除くことができない場合は、弊社または販売店にご相談ください。お客様での分解・修理はしないでください。

【操作部】

主電源スイッチ(本体背面)



① 主電源スイッチ
一側「入」を押すと「ビッ」と鳴って主電源が入ります。○側「切」を押すと主電源が切れます。

② 電源・ローラー逆転ボタン<赤色>
ボタンを押すと「ビッ」と鳴って電源が入りコールドのランプが点滅します。「ピー」と鳴ってランプが点灯になるとコールドラミネートが可能になります。
また、ボタンを押し続けると「ビッビッビッ…」と鳴ってローラーが逆転します。フィルムづまりや巻き込みが起こった場合に使用します。

【▶ P.13 「フィルムづまりや巻き込みのトラブル」参照】

③ オート設定ボタン<青色>とランプ
ボタンを押すと「ビッ」と鳴ってランプが点滅しウォームアップを開始します。約60秒後に「ピー」と鳴ってランプが点灯になるとオート設定でのラミネートが可能になります。
※記載の時間は室温により異なります。

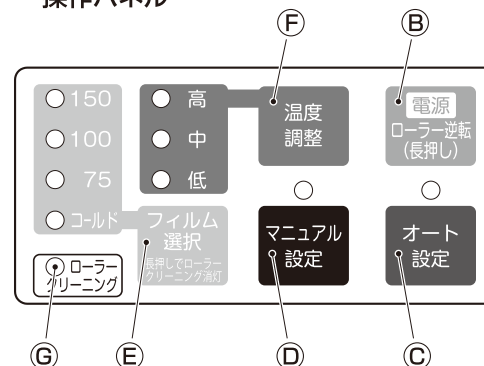
④ マニュアル設定ボタン<黒色>とランプ
ボタンを押すと「ビッ」と鳴ってランプが点滅しウォームアップを開始します。約60秒後に「ピー」と鳴ってランプが点灯になるとマニュアル設定でのラミネートが可能になります。
※記載の時間は室温により異なります。

⑤ フィルム選択・ローラークリーニングお知らせランプ消灯ボタン<薄灰色>とランプ
マニュアル設定時、ご使用になるフィルム厚を75・100・150μmの中から選択します。ボタンを押すと「ビッ」と鳴って選択されているランプが点灯します。
※初期設定時のフィルム厚は「100」で選択されています。
また、長押し(約2秒間)すると「ビッ」と鳴ってローラークリーニングお知らせランプが消灯します。

⑥ 温度調整ボタン<濃灰色>とランプ
マニュアル設定時、お好みの仕上がりに合わせてラミネートの温度を「高・中・低」の3段階で微調整できます。ボタンを押すと「ビッ」と鳴って選択されているランプが点灯します。
※初期設定時のラミネートの温度は「中」で選択されています。

⑦ ローラークリーニングお知らせランプ
ローラークリーニングが必要ときにランプが点灯します。
【▶ P.14 「ローラークリーニングお知らせランプ、ローラークリーニングの方法」参照】

操作パネル



ラミネートについて

ラミネート

▶ P.8～

ラミネートとは、パック式のフィルムに原稿をはさみ込み、熱とローラーの圧力で原稿に接着することです。一度に両面がラミネートされます。

特長

- ・ラミネートするとフィルムがプラスチックのように丈夫になり、原稿を水・汚れ・傷等から守ります。また、偽造防止効果も高まります。
- ・原稿をフィルムにはさんでラミネータに通すだけの簡単操作で、美しいラミネートが可能です。

ラミネートできないもの

次のようなものはラミネートしないでください。

紙以外の物	磁気カード	熱により変色・変質する物	可燃物・軟化しやすい物
			
金属・木片・布等	クレジットカード等	感熱紙・クレヨン画等	セロハン・ビニール製品等
その他、先端が尖った物や折れ曲がっている物等			

注意

昇華型熱転写プリンタで印刷した原稿をラミネートすると、時間が経って像がぼやけたり退色したりすることがありますのでご注意ください。

ラミネートする前のご注意

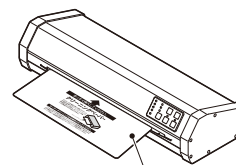
一度ラミネートした物をはがしたり、やり直したりすることはできません。また、誤った使用方法によりラミネートを失敗すると、フィルムづまりや巻き込みが起こり故障の原因になる場合があります。ご使用方法に従い正しくお使いください。

注意

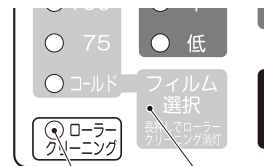
- ・たった一枚しかないような大切な物はラミネートしないでください。
- ・本機の使用による原稿等の破損・損失につきましては、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ラミネートの終了

1.ローラークリーニングを行います



クリーニングペーパー



点灯

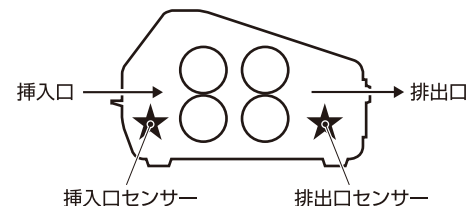
長押しでローラークリーニングお知らせランプを消灯

- ・作業が一通り終了したら、クリーニングペーパーを数回通してローラークリーニングを行ってください。
 - ・一度にたくさんラミネートする場合は、10枚に1回の割合でローラークリーニングを行ってください。
 - ・オートリバース機能作動後やローラー逆転後もフィルムづまり防止のため、ローラークリーニングを行ってください。
 - ※ローラークリーニングが必要なときは、ローラークリーニングお知らせランプが点灯します。
 - ・ローラークリーニング終了後は、フィルム選択ボタンを長押し(約2秒間)して、ローラークリーニングお知らせランプを消灯させてください。
 - ※ローラークリーニング終了後にローラークリーニングお知らせランプは自動で消灯しません。
- 【▶ P.14「ローラークリーニングお知らせランプ・ローラークリーニングの方法」参照】

2.ラミネータの終了

- ・電源ボタンを押すとヒーターがオフになってローラーの温度が下がりクールダウンの状態になります。温度が下がるまでローラーとファンは作動します。約10分後にローラーとファンが停止し電源オフの状態になるので、主電源スイッチの○側「切」を押してプラグをコンセントから抜いてください。
- ・本体が室温程度に下がってから保管してください。

オートリバース機能について



注意

フィルムは「すばやく」挿入してください。オートリバース機能が作動し、ローラーが逆転する場合があります。

●オートリバース機能について

- ・オートリバース機能とは、挿入口と排出口の2つのセンサーでフィルムの通過を監視し、一定時間排出口センサーがフィルムの通過を検知しない場合は自動的にローラーが逆転し、フィルムづまりや巻き込みを防止する安心機能です。
- ・フィルムづまりや巻き込みが起こりオートリバース機能が作動した場合は「ピッピッピッ…」と鳴ってローラーが逆転します。
- ※オート設定・マニュアル設定どちらでも作動します。

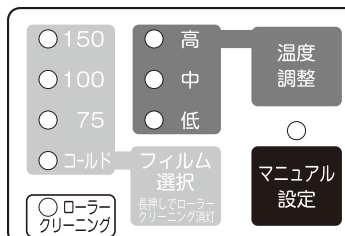
マニュアル設定の場合（温度の微調整が可能な設定です）

2. 1.のあとマニュアル設定ボタンを押します



- ・1.のあとマニュアル設定ボタンを押すと「ピッ」と鳴ってランプが点滅しウォームアップを開始します。
- ・約60秒後「ピー」と鳴ってランプが点灯になるとマニュアル設定でのラミネートが可能になります。
- ウォームアップ時間について
時間は室温や温度設定により異なります。
※記載の時間は室温が約25℃の場合です。
※内部のローラーが加熱されるため、ゴムのにおいが発生する場合がありますが使用上の問題はありません。

3. フィルム選択と温度調整を行います



- ・フィルム選択ボタンを押してご使用になるフィルム厚を選択し、温度調整ボタンを押してお好みの温度に調整してください。
※初期設定時はフィルム厚「100」、温度「中」で選択されています。
※マニュアル設定時に使用できるフィルム厚は75・100・150 μmのみです。

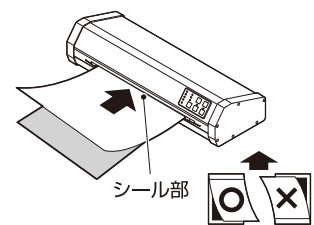
●フィルム選択と温度調整の参考例

- ・100 μmフィルム+薄紙→フィルム厚「100」、温度「中」
- ・100 μmフィルム+厚紙→フィルム厚「100」、温度「高」
- ・また仕上がりが白っぽい場合は温度調整を「高」にすると白っぽさが解消されることがあります。

●原稿の例

- 薄紙 - コピー用紙・カタログ・雑誌等
- 厚紙 - 写真・ハガキ・画用紙等

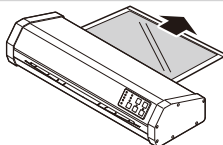
4. マニュアル設定ランプが点灯に変わったらフィルムを挿入します



フィルム方向に注意 【P.12「オートリバース機能について」参照】

- 名刺サイズなどの小さいフィルムを使用する場合は、P.18「補足説明」を参照してください。

5. フィルム排出口よりラミネートされて出てきます



- ・フィルムが背面のフィルム排出口から完全に出てきてからフィルムを取り出し、平らなところに置いて冷ましてください。
- ラミネート直後のフィルムは高温になっています。やけどには十分ご注意ください。

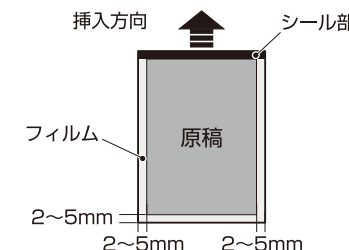
- ・ラミネート後は速やかにフィルムを取り出してください。フィルム排出口に放置すると、加熱により折れ曲がったりシワになったりします。ラミネート直後のフィルムは変形しやすくなっていますので、取扱いにご注意ください。
- ・続けてラミネートする場合は、必ず先に入れたフィルムを取り出してから行ってください。

ラミネートを行う①

ラミネートフィルムの準備

100 μmおよび150 μmのラミネートフィルムは、弊社製品のご使用をおすすめします。

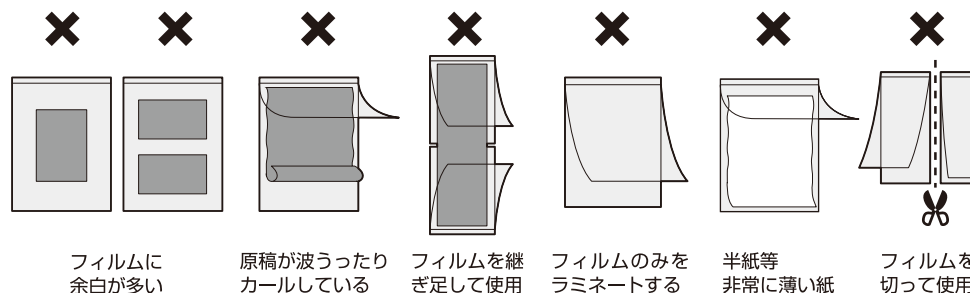
ラミネートフィルムに原稿をはさみます



- ・ラミネートフィルムは原稿よりも2~5mmくらい大きい物をご用意ください。
- ・原稿はフィルムのシール部に当たるまで差し込んでください。余白が多いとローラーに巻き付きやすくなり、フィルムづまりの原因となります。
- ・ラミネート可能な厚みは、フィルムと原稿を合わせて最大0.6mmまでです。
ただし原稿の厚みが約0.3mmを超える場合は、原稿の周囲が十分に接着されない場合があります。



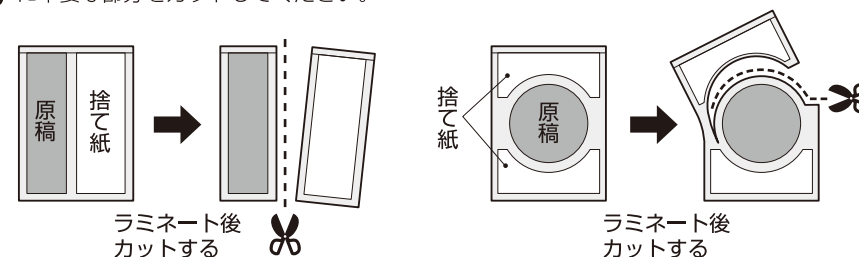
注意 次のようなラミネートはシワの発生やフィルムづまりや巻き込みの原因となりますのでおやめください。



最適なサイズのフィルムがない場合は



最適なサイズのフィルムがない場合は、図のように「捨て紙」を入れてラミネートした後、に不要な部分をカットしてください。



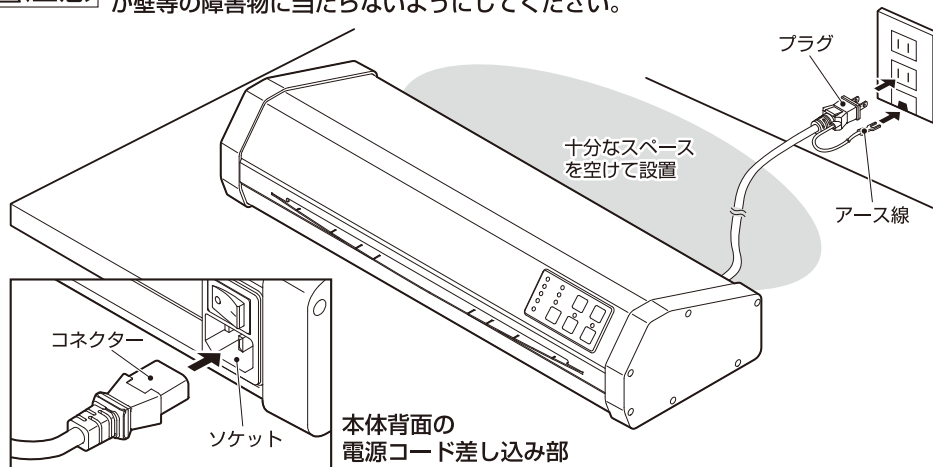
ラミネートを行う②

ラミネータの準備

ラミネータを設置します

- ・ラミネータを水平な場所に設置します。
- ・電源コードのコネクターを本体背面のソケットに差し込み、アース線を接続してからプラグをコンセントに差し込みます。

注意 ラミネータの後ろのスペースを十分に空け、ラミネートされて出てきたフィルムが壁等の障害物に当たらないようにしてください。



ラミネートを行う③

ラミネートの開始

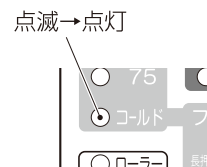
1. 主電源スイッチの側「入」を押したあと電源ボタンを押します



- ・本体背面にある主電源スイッチの側「入」を押すと「ピッ」と鳴って主電源が入ります。その後操作パネルにある電源ボタンを押すと「ピッ」と鳴って電源が入ります。

コールドラミネートの場合

2. コールドラミネートを開始します

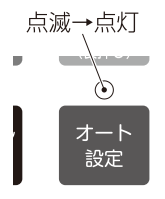


- ・1.のあとコールドのランプが点滅します。「ピー」と鳴ってランプが点灯になるとコールドラミネートが可能になります。

- コールドラミネートについて
コールドラミネートをする際は、コールドラミネート専用フィルムをお使いください。また、使用方法についてはお使いになるコールドラミネート専用フィルムの使い方に従ってください。
※コールドラミネートはマニュアル設定時のフィルム選択からは選択できません。

オート設定の場合（通常はオート設定でご使用ください）

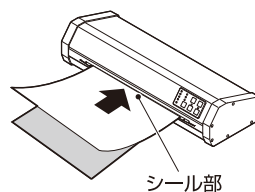
2. 1.のあとオート設定ボタンを押します



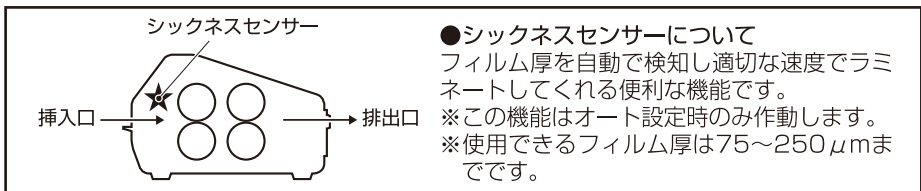
- ・1.のあとオート設定ボタンを押すと「ピッ」と鳴ってランプが点滅しウォームアップを開始します。
- ・約60秒後に「ピー」と鳴ってランプが点灯になるとオート設定でのラミネートが可能になります。

- ウォームアップ時間について
時間は室温や温度設定により異なります。
※記載の時間は室温が約25℃の場合です。
※内部のローラーが加熱されるため、ゴムのにおいが発生する場合がありますが、使用上の問題はありません。

3. オート設定ランプが点灯に変わったらフィルムを挿入します

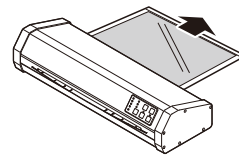


- ・オート設定ランプが点灯に変わったら、原稿をはさんだフィルムをサイズ表示を目安にしてフィルム挿入口からまっすぐ中央に入れます。ローラーにフィルムがあたり自動的に送り込まれます。
- ・フィルムを強く押し込まないでください。先端が折れ曲がりフィルムづまりや巻き込みの原因となります。
- ・必ずフィルムのシール部側から挿入してください。
- ・オート設定の場合はシックネスセンサー機能により、フィルム厚を自動で検知し適切な速度でラミネートします。
- ・フィルムは「すばやく」挿入してください。オートリバー機能が発動しローラーが逆転する場合があります。
【▶ P.12「オートリバー機能について」参照】



- 名刺サイズなどの小さいフィルムを使用する場合は、P.18「補足説明」を参照してください。

4. フィルム排出口よりラミネートされて出てきます



- ・フィルムが背面のフィルム排出口から完全に出てきてからフィルムを取り出し、平らなところに置いて冷ましてください。
- ラミネート直後のフィルムは高温になっています。やけどには十分ご注意ください。

- ・ラミネート後は速やかにフィルムを取り出してください。フィルム排出口に放置すると、加熱により折れ曲がったりシワになったりします。ラミネート直後のフィルムは変形しやすくなっていますので、取扱いにご注意ください。
- ・続けてラミネートする場合は、必ず先に入れたフィルムを取り出してから行ってください。